令和７年度　やまがた社会貢献基金助成事業　活動報告書

団体名	認定特定非営利活動法人発達支援研究センター		
事業名	もうひとつの進路合同説明会事業		
助成事業区分	協働助成事業（テーマ希望型） イオン・さくらんぼ WAON　子どもの健全育成支援事業		
団体の所在市町村	山形市	事業費	748,337 円
		うち助成金額	678,241 円
事業実施期間	令和　7 年　6 月　11 日　から　令和　8 年　2 月　28 日　まで		

事業目的・実施内容

（事業目的）

義務教育以後の進路は様々あるのに対して、中３の子どもとその親がそれを知っていることはあまりありません。また、義務教育段階において不登校傾向だと、進路未定のまま中学を卒業する子どもや、全日制高校に進学してもうまく適応できずに中退する子どももいます。中３の進路決定の時点でもっと情報を得ていたら、その子に合う進路が選べたかもしれないという思いを抱いてきました。すべての子どもに所属のある義務教育最終年度に、必要な情報を必要な子どもとその親に届けたい、また社会に出るまでの伴走支援をしたいと考え、計画するものです。

（実施内容）

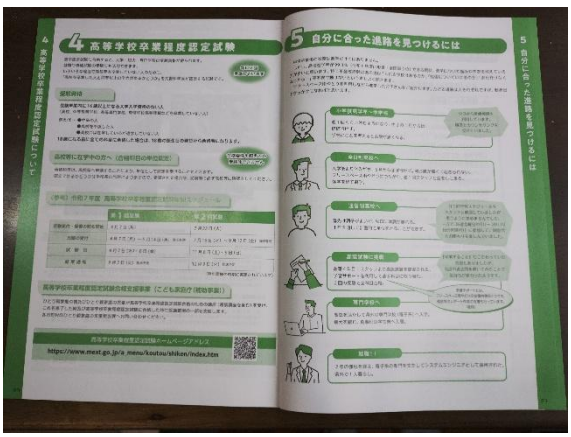
①「もうひとつの進路合同説明会」の開催
令和7年9月23日、山形ビッグウイングにて開催。
参加者数：来場者61組104名。通信制高校7校。支援機関2機関。
②小冊子の発行
『やまがた進路選択ナビブック』を600部発行。イベント時に配布するほか中学校26校高等学校23校適応指導教室12箇所に郵送。その後も問い合わせに応じて追加で郵送している。
③自学自習の時間「スタディータイム」の開室
開室日数：９４日
利用者数：のべ２８名





事業の成果	多様な進路の情報提供を行うことによって、ひとりひとりその子に合った進路を選ぶことができ、子どもの健全育成に寄与した。また、困難を抱える子どもとその親が様々な情報を得ることによって支援機関等につながり、ひきこもり等の社会的孤立を防ぐことにつながった。自習の居場所を開くことによって、例えば通信制高校という所属感が比較的薄く、親子ともに孤独孤立を感じやすい環境の中でもゆるやかに、しかし切れ目なくつながることができた。 ・スタディータイムを利用して通信制高校の単位を取得した人数：2名、うち1名は卒業することができた。
今後の展望	進路合同説明会は令和４年度から継続しており、回を重ねるごとに参加者が増えニーズの高さを感じている。義務教育終了後の進路の多様性が社会に認められていくとともに、誰もが地域の中で自分らしく暮らせるようなあたたかい社会へと変化することに貢献できる事業と考えており、今後も各種助成金等を活用して継続していきたいと考えている。 本事業の周知とともに、法人全体の活動もアピールして支援者の獲得につなげていく。







団体概要

団体名　認定特定非営利活動法人
発達支援研究センター

代表者　細谷　暁子

URL　https://cdss.jp

HP　Instagram

令和７年度山形県ＮＰＯ活動促進補助事業

収支精算書

事業の名称	もうひとつの進路合同説明会事業
団体名	認定特定非営利活動法人　発達支援研究センター

１　収入の部

（単位：円）

区分	精算額	内容
県補助金	678,241	令和７年度山形県NPO活動促進補助金
当該事業による収入		
その他収入		
自己資金	70,096	
合計	748,337	

２　支出の部

（単位:円）

区分	精算額	内容
謝金		
旅費	41,896	スタッフ交通費
印刷製本費	365,320	進路選択ナビブック作成費
消耗品･材料購入費	65,887	学習の居場所用WiFi・コピー用紙等購入費
通信運搬費	28,560	案内チラシ・ナビブック郵送料
保険料		
使用料	42,160	会場費
人件費	186,028	スタッフ賃金
(委託費)		
(備品購入費)		
(修繕費)		
その他	18,486	銀行振込手数料・参加校お礼（菓子折り）
合計	748,337	